

5月から7月 ～初夏のサツナン～



5月2日 遠足
一年生は雨天の為、校内ドッジボール大会になりました。



5月8日 南薩地区大会
男子バドミントン部が団体優勝。



5月15～17日 中間考査
五教科だけでなく、それぞれ専門教科の試験もあります。



5月25日 学校説明会
夜7時から行われ、たくさんの中학생親子が本校の見学に訪れました。



5月31日 NHK旗選抜
4年連続出場の野球部、2回戦でれいめい高校と対戦。



5月31日 水泳県大会
江崎さん(建1・万世中)が女子自由形100・200mで県代表決定。



6月2日 ものコン
羽生君(建3・福平中)が家具・工芸部門で優秀賞を獲得。



6月4日 全校朝礼
薩南では月に一度頭髪服装指導を実施。卒業後、すぐ社会に出る準備です。



6月17日 なぎなた九州大会
中村さん(建2・万世中)と床並さん(生1・川辺中)が演技・競技の部に出場。



6月19日 生徒総会
生徒会執行部を中心に運営。自分たちに何ができるか話し合われました。



6月29日 PTAミニバレー
地区対抗のミニバレー大会。みないい汗をかいていました。



7月10日 とうろう清掃
三年生恒例のボランティア活動。ねふた祭りを前に灯籠を磨いて回りました。



薩南野球部 夏の県大会を前に

「本校創立110年の歩み～（１）」

薩南工業高等学校校長 大保 智

今年は、明治維新150周年の年にあたり、NHK大河ドラマ「西郷どん」も放送されるなど、県内外において様々な催しが行われています。

明治42年に本校は開校していますが実は、本校の学校創設者宮原直二翁は西南戦争に従軍し、負傷して帰郷したと聞きました。その後、知覧村のために農業振興や教育に熱心に取り組まれたとのこと。

本校の校長室には、学校創設者「第4代知覧村長宮原直二翁」の肖像写真が掲げてあります。改めて、宮原直二翁の学校創設へ向けた情熱を明治42年10月20日の入学式での祝辞において詠まれた歌「ひと筋に学び励みて墨縄の正しき道をふみなたがへそ」とともに皆さんと一緒に、来年（2019年）創立110周年の年を迎えることから今年109年目にしっかりと歩みを進めるために振り返ってみたいと思います。本校創立100周年記念誌を参考にまとめてみました。

まもなく20世紀を迎えようとする明治30(1897)年、知覧村役場助役であった宮原直二は、「地域振興のためには工業教育によって優秀な技術者を育てることが大切である」と、当時の東京工業学校(現在の東京工業大学)教員養成所に、知覧から青年を派遣することを提案。議決を得るが、当時まだまだ「職人に学問は必要ない」といった偏見も根強く、実現はかなわなかった。しかし宮原はあきらめず、ひとり視察と調査を続け、工業教育の重要性を村内に説いて回った。

そして明治40(1907)年、第4代知覧村長に就任した宮原は、満を持して村立工業学校の設立を議会に提案。受け入れられなければ辞任する覚悟で、論戦に臨んだ。9日間におよぶ討議の末、宮原の熱意に押された村議会は、満場一致で工業学校設立を決議。

明治42(1909)年9月4日、文部大臣より「知覧村立工業徒弟学校」が認可されたのだった鹿児島県では2番目となる工業学校である。（「創立100周年記念誌」参照）

薩南工業高校の正門から入りますと、右正面に歌碑が建立されています。左側には、薩南健児の像が建立されています。これまで約17,000名以上の卒業生、保護者、地域の方々、学校関係者、さらに在校生、保護者を始め、多くの関係者の方々の熱い思いが今の薩南工業高校を支え見守っていただいていることに深く感謝を申し上げます。来年の創立110周年に向け、学校一丸となり歩んでいきますので、よろしく願いいたします。

※公式ホームページ・Facebookもご覧ください。「薩南工業高校」で検索。